

サッカー療育における行動分析

～ABC分析を活用したケーススタディ～

本日の目標

- ABC分析の視点で子どもの行動を理解する
- 具体的な支援方法を考える
- チームで支援方針を共有する

アイスブレイク（5分）

考えてみよう

最近の支援場面で「なぜこんな行動をするのだろうか？」と思った出来事を思い出してください

ペアで共有（3分）

- 隣の方と1つずつ共有
- 「その時どう対応しましたか？」

ABC分析の復習（10分）

行動の3つの要素

要素	内容	サッカー療育での例
A ntecedent (先行刺激)	行動の きっかけ となる環境や状況	練習開始の声かけ ペア決めの場面
B ehavior (行動)	実際に起こった 行動	参加を拒否する 大声を出す
C onsequence (結果)	行動の後に 起こった 結果	個別対応になる 注目を集める

なぜABC分析が大切か？

行動の「意味」を理解する

⚡ 同じ行動でも背景が違う

- 「練習に参加しない」という行動
 - A: 苦手な練習メニュー → B: 参加拒否 → C: 見学になる
 - A: ペアが決まらない → B: 参加拒否 → C: スタッフと一緒にやる

💡 支援のポイント

背景（A）を変えることで、行動（B）が変わる可能性がある

ケース1：たける君（仮名・9歳）

プロフィール

- サッカーが大好きな男の子
- 正義感が強い
- 気持ちを言葉にするのが苦手

最近の様子

- モヤモヤした気持ちを表現できない
- 友達に強い口調で話してしまう
- 左足のシュート練習を避けがち

ケース1：個人ワーク（5分）

たける君の「強い口調」をABC分析してみよう

状況

練習中、ペアの子がルールを守らなかった時、たける君は「ダメでしょ！ちゃんとやって！」と強い口調で言った。相手の子は泣いてしまった。

ワークシート記入

- A（先行刺激）： _____
- B（行動）： _____
- C（結果）： _____

ケース1：分析例と支援案

A（先行刺激）	B（行動）	C（結果）
<ul style="list-style-type: none">・ ルール違反を目撃・ 正義感が刺激される・ 適切な伝え方が分からない	強い口調で注意する	<ul style="list-style-type: none">・ 相手が泣く・ 活動が中断・ スタッフが介入

支援の方向性

- **A を変える:** 事前に「優しい伝え方」を練習
- **B を変える:** 「感情カード」で気持ちを整理してから伝える
- **C を変える:** 適切に伝えられたら即座に褒める

ケース2：ひなたさん（仮名・年齢非公開）

プロフィール

- 自分の気持ちを伝えるのが苦手
- 消極的で、二人組を作るのが難しい
- 最近、歩行時につまずきやすい

保護者の希望

- 主体的に活動に参加してほしい
- 自分の感情を表現できるようになってほしい
- 姿勢や歩行を改善したい

ケース2：ペアワーク（7分）

ひなたさんの「ペア作りの消極性」を分析しよう

状況

「二人組を作って」の指示で、ひなたさんはその場に立ったまま動けず、最後まで残ってしまう。

ワークシート記入

- A（先行刺激）： _____
- B（行動）： _____
- C（結果）： _____

ケース2：分析例と環境調整

A（先行刺激）	B（行動）	C（結果）
<ul style="list-style-type: none">・「二人組作って」の指示・大勢の中での選択・断られる不安	その場で動けない	<ul style="list-style-type: none">・スタッフとペアになる・選ばなくて済む・安心感を得る

段階的な支援案

- 1. 環境設定: 最初は3～4人の小集団で実施
- 2. 視覚支援: ペアカードを使った仕組み
- 3. スモールステップ: 「隣の人と」 → 「好きな人と」へ段階的に

ケース3：そうた君（仮名・年齢非公開）

プロフィール

- 集団活動が苦手
- こだわりが強く、思い通りにならないと混乱
- バランスが悪く、怪我をしやすい

支援目標

- 善悪の判断力向上
- 柔軟な対応力の獲得
- 体幹・バランス能力の向上

ケース3：グループワーク（8分）

そうた君の「こだわり行動」への対応

状況

いつも同じ順番、同じ場所でないと練習に参加できない。順番が変わると「違う！」と言って活動から離れてしまう。

ワークシート記入

- A（先行刺激）： _____
- B（行動）： _____
- C（結果）： _____

ケース3：多角的アプローチ

A（先行刺激）	B（行動）	C（結果）
<ul style="list-style-type: none">・ いつもと違う順番・ 予測できない変化・ 不安感の高まり	「違う！」と離れる	<ul style="list-style-type: none">・ 個別対応・ 不安の軽減・ 変化を避けられる

★ サッカー療育ならではの支援

- 予告カード: 今日の練習メニューを視覚化
- 選択制: 「AコースとBコース、どちらにする？」

🎯 実践のポイント

- 役割設定: 「今日は君が順番を決める係」
- 成功体験: 小さな変化から徐々に慣れる

振り返りディスカッション（10分）

3つのケースから学んだこと

全体共有

1. 共通する支援のポイントは？
2. サッカー療育の強みをどう活かす？
3. 明日から実践できることは？

グループで1つずつ発表（各1分）

ABC分析を活用した支援のコツ

観察のポイント

1. **いつ・どこで・誰と** いるときに起こるか
2. 行動の **前後30秒** を観察
3. 本人にとっての **メリット** を考える

PDCAサイクル

- Plan: ABC分析から支援計画
- Do: 実践と記録
- Check: 変化を評価
- Act: 計画の修正

サッカー療育×ABC分析の可能性

サッカーの特性を活かす

サッカーの要素	支援への活用
ルール	構造化された環境での練習
チームプレー	社会性・協調性の育成
身体活動	感覚統合・ストレス発散
達成感	自己肯定感の向上
役割分担	責任感・所属感の醸成

今日のまとめ

3つのポイント

1. 行動には必ず理由がある

- ABC分析で「なぜ」を理解する

2. 環境調整が支援の第一歩

- Aを変えることで、Bが変わる

3. スモールステップで成功体験を

- 小さな変化の積み重ねが大きな成長に

アクションプラン

明日から実践すること（個人ワーク2分）

あなたが担当している子どもを1人思い浮かべて...

1. 観察したい行動: _____
2. 記録する項目: _____
3. 試してみる環境調整: _____



1週間後に振り返りましょう！

ご清聴ありがとうございました

質疑応答（5分）



ご質問・ご意見をお聞かせください



子どもたちの「できた！」を増やすために

